

令和2年9月1日  
愛媛大学

## 第43回 現代教養講座(放送県民大学)の受講者募集

豊かな教養と創造力を培っていただくため、現代教養講座(放送県民大学)を下記の県下3会場で開催します。各会場ごとに計3回、テーマごとの映像と本学の教員による講義で、知識を深めていただきます。受講者を募集しておりますので、興味のある方は是非ご参加ください。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

### 日時・講座内容・会場・募集人数【受講無料】

□中予会場(松山市) 愛媛県生涯学習センター 開講時間 10:00~12:00 定員 各50名※		
10月11日(日)	文学雑学講座 ~漱石・子規・芭蕉~	愛媛大学法文学部 客員教授 木藤 隆雄
11月8日(日)	文化資源と観光まちづくり	愛媛大学社会共創学部 准教授 井口 梓
12月6日(日)	博物館から学ぶ 情報の伝え方・見せ方	愛媛大学ミュージアム 准教授 徳田 明仁
□東予会場(新居浜市) 愛媛県総合科学博物館 開講時間 13:30~15:30 定員 各30名※		
9月13日(日)	清少納言のはかりごと -中宮定子への想い-	愛媛大学非常勤講師 聖カタリナ高等学校 教諭 田中 千晶
10月25日(日)	楽しき哉、Grammar! -文法の窓からみる映画・音楽の世界-	愛媛大学法文学部 教授 今泉 志奈子
12月6日(日)	チンギス・カンと鉄と考古学	愛媛大学法文学部 准教授 笹田 朋孝
□南予会場(西予市) 愛媛県歴史文化博物館 開講時間 13:00~15:00 定員 各30名※		
10月3日(土)	海外の日本語教育の光と闇 ~植民地政策に抗った教師たち~	愛媛大学国際連携推進機構 准教授 伊月 知子
10月24日(土)	昭和の人気作家・獅子文六の世界 -『信子』を中心に-	愛媛大学法文学部 教授 秋山 英治
12月5日(土)	四国発 シェイクスピアへの旅 -芝居小屋からグローブ座へ-	愛媛大学法文学部 准教授 井上 彰

受講資格：原則として、県内に在住、もしくは勤務の方

申込方法：受講を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号、希望会場をご記入の上、愛媛県生涯学習センターの窓口または郵送、FAX、メールでお申し込みください。

受講者の決定：受講できる場合は特に連絡いたしません。※定員に満たない講座は、開講日当日まで受け付けます。

申込先：愛媛県生涯学習センター 〒791-1136 松山市上野町甲650番地

電話：(089) 963-2111 FAX：(089) 963-4526 電子メール top@i-manabi.jp

ホームページ：<http://www.i-manabi.jp/>

※やむを得ず日程・講師の変更や講座の中止を行う場合があります。中止の場合、補講は行いません。

最新情報は愛媛県生涯学習センターのホームページ(<http://www.i-manabi.jp/>)をご確認ください。

※新型コロナウイルス感染防止のため、定員を削減しています。ただし、今後の感染状況等により定員は随時増やして実施する予定です。

※送付資料3枚(本紙を含む)

本件に関する問い合わせ先  
教育学生支援部 教育企画課 総務チーム  
TEL 089-927-8101 (ダイヤルイン)  
Mail : manabi@stu.ehime-u.ac.jp



令和  
2年度  
第43回

# 現代教養講座

受講者  
募集

(放送県民大学)

受講  
無料

愛媛県では、県民のみなさまに豊かな教養と創造力を培っていただくため、現代教養講座(放送県民大学)を下記の県下3会場で開催します。各会場ごとに講座に関する映像をご覧ください、愛媛大学の先生方による講座を受けて、知識を深めていただけます。

中予会場  
松山市



## 愛媛県 生涯学習センター

- 開講時間 / 10:00~12:00
- 定員 / 各50名\*

10/11 日

学び  
えひめ

講義  
内容

文学雑学講座  
～漱石・子規・芭蕉～

講師

愛媛大学法文学部 客員教授 木藤 隆雄

11/8 日

学び  
えひめ

講義  
内容

文化資源と観光まちづくり

講師

愛媛大学社会共創学部 准教授 井口 梓

12/6 日

学び  
えひめ

講義  
内容

博物館から学ぶ  
情報の伝え方・見せ方

講師

愛媛大学ミュージアム 准教授 徳田 明仁

東予会場  
新居浜市



## 愛媛県 総合科学博物館

- 開講時間 / 13:30~15:30
- 定員 / 各30名\*

9/13 日

講義  
内容

清少納言のはかりごと  
—中宮定子への想い—

講師

愛媛大学 非常勤講師 聖カタリナ学園高等学校 教諭 田中 千晶

10/25 日

学び  
えひめ

講義  
内容

楽しき哉、Grammar!  
—文法の窓からみる映画・音楽の世界—

講師

愛媛大学法文学部 教授 今泉 志奈子

12/6 日

学び  
えひめ

講義  
内容

チンギス・カンと  
鉄と考古学

講師

愛媛大学法文学部 准教授 笹田 朋孝

南予会場  
西予市



## 愛媛県 歴史文化博物館

- 開講時間 / 13:00~15:00
- 定員 / 各30名\*

10/3 土

学び  
えひめ

講義  
内容

海外の日本語教育の光と闇  
～植民地政策に抗った教師たち～

講師

愛媛大学国際連携推進機構 准教授 伊月 知子

10/24 土

学び  
えひめ

講義  
内容

昭和の人気作家  
・獅子文六の世界  
—『信子』を中心に—

講師

愛媛大学法文学部 教授 秋山 英治

12/5 土

学び  
えひめ

講義  
内容

四国発  
シェイクスピアへの旅  
—芝居小屋からグローブ座へ—

講師

愛媛大学法文学部 准教授 井上 彰

※やむを得ず日程・講師の変更や講座の中止を行う場合がございます。最新情報はホームページ (<http://www.i-manabi.jp/>) をご確認ください。  
※新型コロナウイルス感染防止のため、定員を削減しております。ただし、今後の感染状況等により定員は随時増やして実施する予定です。

主催：愛媛県生涯学習センター、愛媛大学

後援：愛媛新聞社、NHK松山拠点放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

愛媛県  
生涯学習センター

中予会場  
松山市



木藤 隆雄

(きとう たかお)

愛媛県出身。愛媛大学法文学部客員教授。ニッポン放送アナウンサーを経てフリー。現在、愛媛朝日テレビのニュースコメントーターの他、川柳番組にも出演。

私の知り合いの嘶家さんは、修業時代、ある寺に世話になっていました。最近久しぶりに寺を訪ねた際、住職から、その寺に若き日の漱石が下宿していた事をきかされ、漱石が身近な存在に思えてきたそうです。「文豪」あるいは「俳聖」と言われる人達は、何となく我々から遠い存在の様に思えますが、その人達の普段のエピソードに接すると、とても親しみがわいてきます。今回は、文学を正面からとらえるのではなく、別の角度から楽しんでみたいと思います。



井口 梓

(いぐち あずさ)

香川県出身。愛媛大学社会共創学部准教授。地域共創研究センター副センター長。専門は、観光文化論。愛媛県内で、文化資源を活かした観光まちづくり実践に取り組む。

私たちが生活する舞台には、まち(むら)を構成する人、衣食住、産業、民俗行事などがあり、その積み重ねの歴史・伝統・地域文化があります。「観光まちづくり」とは、地域が主体となって、自然、文化、歴史、産業、人材など、地域のあらゆる資源を活かすことによって、地域内外の交流を促進し、活力あるまちを実現するための活動を指します。様々な実践を事例に、文化資源を活かした観光まちづくりの手法について一緒に考えてみましょう。



徳田 明仁

(とくだ あきひと)

愛媛県出身。愛媛大学ミュージアム准教授。大阪大学総合学術博物館招聘准教授。専門はデザイン学。展示デザインによる見方・見せ方、情報の伝達について研究。

博物館は生きる立体書籍のようなもの。このメッセージに準える多種多様な展示づくりはたくさんの方を教えてください。専門である展示デザインは、取り扱う情報(もの・こと・現象)にもその研究者にも耳を傾け、確認を繰り返す中でうまれるメッセージを発見し、その全てを出来る限り分かり易く社会全般に伝える・示す行為といえます。これまで手がけた展示づくりを通じて情報の見せ方・伝え方を紹介したいと思います。

愛媛県  
総合科学博物館

東予会場  
新居浜市



田中 千晶

(たなか ちあき)

愛媛県出身。聖カタリナ学園高等学校教諭。愛媛大学法文学部非常勤講師。専攻は日本語学。方言話者の意識と、日本語教授法を研究。

類聚的章段・日記的章段・随想的章段で構成された『枕草子』は、作者である清少納言の鋭い感性で描かれた随筆として知られています。しかし、本当に単なる「随筆」なのでしょうか。序段で四季折々の素晴らしさが綴られていますが、そこに何か理由があるとすれば、『枕草子』は単なる随筆ではないのかも知れません。清少納言の生きた貴族社会を検証しながら、作品に込められた「想い」を読み解いていきましょう。



今泉 志奈子

(いまいずみ しなこ)

兵庫県出身。愛媛大学法文学部教授。南海放送ラジオパーソナリティ。専門は英語学・言語学。日・英語比較対照を中心に、芸術作品の翻訳等について研究。

英文法といえば、教室でひたすらに暗記させられたもの...という印象をもっておられる方が多いのではないのでしょうか。英語を楽しく話してみたいけれど、文法がどうも苦手でという方もおられるかもしれません。いえいえ、「文法」は「魔法のこぼれ」という語源を持っているぐらい、人を魅惑する不思議な魅力をもっているものなのです。美しい映画音楽、懐かしいポップスの英語詞を楽しく読み解きつつ、文法の魅力を体感していただきたいと思います。



笹田 朋孝

(ささだ ともたか)

広島県出身。愛媛大学法文学部准教授。専攻は考古学。東北アジア地域の製鉄、幕末日本の近代産業化(反射炉・海軍所)など、人と鉄の関わりを研究。

ユーラシアに空前絶後の帝国を築き上げた大モンゴル国。その礎を築いたチンギス・カンの前半生は良く分かっていません。そのため、テムジン(後のチンギス・カン)とモンゴル族がどうやって力をつけていったのか、についてもいまだに良く分かっていません。そこで、チンギス・カンの拠点であったモンゴルのアウラガ遺跡の発掘成果を中心に、「鉄」という切り口からチンギス・カンの戦略について考えてみたいと思います。

愛媛県  
歴史文化博物館

南予会場  
西予市



伊月 知子

(いつき ともこ)

大阪府出身。愛媛大学国際連携推進機構准教授。専門は日本語教育。北京の中国人民大学で日本語を教えた経験から、中国東北部で行われた日本語教育について研究。

日本の傀儡政権「満洲国」では植民地政策として日本語教育が行われ、そのための審定教科書が作られました。実際の教科書には日本が「支那」の子どもたちに何を教えようとしていたかを見ることができます。また、「満洲国」よりも前に南満洲鉄道株式会社が関わった日本人教師による日本語教育がすでに始まっていました。当時の教師たちがどのような立場で日本語教育に関わり、政策とどう向き合っていたか、その足跡をたどります。



秋山 英治

(あきやま えいじ)

愛媛県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は、日本語学。とくに、愛媛の方言を研究。

獅子文六は、昭和20年代から30年代の文壇をリードした作家です。戦後に岩松町(現、宇和島市津島町)に疎開していた体験をもとに、『大番』や『てんやわんわ』など南予を舞台とした作品も書いています。戦後の人気作家であった獅子文六の作品は、数多く映画化されました。そのひとつに『信子』という作品があります。新米女性教師の悪戦苦闘を描いたこの作品を通して、獅子文六の世界に迫ってみたいと思います。



井上 彰

(いのうえ あきら)

兵庫県出身。愛媛大学法文学部准教授。専門はイギリス文学、特にシェイクスピア時代の演劇。大学ではイギリス文学の講義と学生の海外派遣に従事。

シェイクスピアが活躍したのは16世紀後半から17世紀前半。この頃、ロンドンには一大演劇ブームが巻き起こっていました。シェイクスピアも株主の1人であったグローブ座(1599年開設)は連日満員の大盛況。それから317年後の1916年(大正5年)、距離にして1万キロ以上も離れた愛媛県内子町に内子座が開設されました。一見何の繋がりもないように見える内子座とグローブ座。ところがこの2つの劇場には、時代、距離、文化的隔りを超えて、通じ合う点が意外にもたくさんあるのです。内子座から出発して、420年前にタイムトラベルし、皆様を1600年のロンドンにグローブ座へとご案内いたします。

- 受講資格/原則として、県内に在住、もしくは勤務の方。 ○受講料/無料
- 申込方法/受講を希望される方は、住所・氏名・年齢・電話番号・希望会場をご記入のうえ、窓口または郵送、FAX、メールでお申込みください。  
※先着順(定員になり次第、受付を終了いたします)  
※定員に満たない講座は、開講当日まで受け付けますので、お問い合わせください。  
※Webからのお申込みをご希望の方は生涯学習センターホームページ(<http://www.i-manabi.jp/>)、『令和2年度コミュニティ・カレッジ』の申込みフォームよりお申込みください。
- 受講の決定/受講できる場合は、特にご連絡いたしません。講座当日会場へお越しください。
- 講座の中止について/新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座を中止する場合があります。中止の場合、補講は行いません。
- その他/受講の際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマスクの着用、手指アルコール消毒などの感染症対策にご協力ください。

会場	お申込み・お問い合わせ先
愛媛県生涯学習センター (松山市) 所在地: 愛媛県松山市上野町甲650番地	<p>愛媛県生涯学習センター</p> <p>〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地</p> <p>TEL(089)963-2111 FAX(089)963-4526</p> <p>Eメール top@i-manabi.jp</p> <p>ホームページ <a href="http://www.i-manabi.jp/">http://www.i-manabi.jp/</a></p>
愛媛県総合科学博物館 (新居浜市) 所在地: 愛媛県新居浜市大生院2133-2	
愛媛県歴史文化博物館 (西予市) 所在地: 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2	